



11時の豆撒式に参加されたタレントの皆様（敬称略）

後列左から キュータ ピーポくん ミス日本 宮西伽菜・野中葵・高田紫帆・宮崎あずさ・三上優  
 祇園舞妓 小ふみ・市晴 高幡不動着物クイーン ハローキティ 愛美お姉さん  
 前列左から イータ 岩崎愛子 稲村亜美 東 貴博 当山貫主 つのだ☆ひろ 寺泉 憲  
 小市慢太郎 藤原 浩 京王電鉄杉浦広報課長



### 寺山の復活「その三」 《花木の植栽開始》

別格本山高幡山金剛寺 貫主 川 澄 祐 勝

山報八十九号・九十一号・九十六号等でお知らせ致しました、寺山不動ヶ丘（愛宕山）の復活事業は昨年（平成二十八年）境内西側の新墓地をのぞむ斜面の大木伐採を中心に作業が進められましたので、新墓地周辺は大変明るくなりました。

更に今年から昨年伐採が行われた箇所隣接する境内西側の急斜面や、境内東側の崖に密生する雑木の伐採等にかかる予定になっていますが、寺山全体の整備事業は更に数年が必要だろうと思っています。

そんな状態ですが、一昨年から業者に注文しておきました桜の苗木（そめいよしの）が百本ほど届きましたので、伐採あとの整理の進んでいる七十七番札所下の空地を中心に植栽を開始しましたので御礼少々ご報告申しあげます。

お陰さまで当山の今年の初詣は「アド街ツク天国」、その他いくつものテレビ放映の影響もあり連日大変な賑いが続きましたが、初めてのご参詣の方は恒例の護摩修行参加や各所拝観等のほか、テレビで放映された山内八十八ヶ所めぐりをされた方も多く、千年の歴史を秘めた高幡山の四季に興味をもたれたようであり、さまざまなお質問をいただいております。

ご承知の通り高幡山は江戸時代から明治にかけて桜・つつじ・紅葉の名所として文人墨客の絶えなかった寺ですが、戦争中の国策に従って杉・檜等が植えられ更に戦後のガス普及によって雑木の刈等が行われなくなり、寺山はすっかり荒れてしまいました。

その為四十年前から杉樹を伐採して楓（もみじ）の保護に取り組み、更に皆さまご奉納のみみじ千本も随分大きくなってきましたので、境内に面した紅葉山は全盛期の状態にまで復活しております。

此の度の伐採作業は燃料需要のなくなった樺・檜その他の雑木の原木が中心ですが、そめいよしのも樹齢百年を越えて幹が空洞化しているものが見受けられますので、そのような株は同時に整理しております。

尚一昨年東京日野ロータリークラブ創立五十周年記念事業として始まった曼珠沙華の植栽は既に十万个を越えています、まだ植栽の余地がありますのでお持ち下されば有難く頂戴致します。

# お不動さまの心——(九六)

## 現代の世相から(56) 廣澤隆之

最近、ある新聞社が日本人の

若者の読解力の低下を伝える特集を組んでいました。読解力とは「文章の内容を正確に読み解く力」という意味です。この能力がないと子供たちが算数の問題を解くこともできませんし、理科や社会といった学科を習得することもできません。すなわち読解力とはあらゆる勉強の基礎になるのですが、その能力が減退しているというのです。国際的な学力調査においても、日本の子供たちの読解力が低下していることが分かったということです。そしてこの読解力の低下がすでに社会人にも見られると報じています。

そのために会社内で配布される文書を新入社員が理解できないという笑えない深刻な現実もあるようです。会社によっては新入社員の研修として読解力をつける教育をしているところもあるようです。また社長の提案で社員に読書を義務づけ、読後の報告書を作成することを義務づけた会社もあるそうです。このような教育は就職する以

前に、大学でも行われています。

大学の事情については、昨年まで大学教育に携わっていましたので、新聞が伝える以上の情報を私は得ていますが、まさに深刻な状況であることは間違いありません。多くの大学では学生が大学の授業を理解できる読解力を身につけるためのプログラムとなる授業を実施しています。これは日本の教育が深刻な危機に陥っていることでもあります。

そもそも入学試験を実施し、学生を選抜して入学させておきながら、その学生に大学の授業が分かるための授業を行っているというのは、とてもおかしい話です。そしてこれが笑い話ではなく現実なのです。このように大学に入る以前の学力に問題のある学生が大量に生み出されているのです。そしてその原因を探り、手当をしなければ日本の知的水準は低下し、国際的競争力は失われ、豊かな生活を維持するのは困難になりますから、事態は深刻なのです。

このような現実を深く見つめて、新聞ではスマートフォン

普及を一例としてあげています。若者はスマートフォンを手放せなくなっていますが、多くの若者たちはスマートフォンで短い文章のやりとりをしています。

いわゆるソーシャルネットワークワーキングサービス(略称SNS)を利用して互いに文章のやりとりをします。とても便利で、友達との仲間意識も育む利点もありますが、社会的にはいろいろと問題を生み出すこともある道具であると思

います。そこで、その若者たちの文章のやりとりはきわめて簡略化される傾向にあるそうです。例えばある人が友人に連絡をした場合、それを受けた若者が「り」とだけ返信することもあるそうです。この場合の「り」とは「了解」の意味だそう

です。すでに単語さえ文字にする場合に簡略化されているのです。そもそもがこのSNSでは長い文章を伝えることはできませんので若者は文章をじっくり読んでも理解する機会が失われているようです。ちなみにスマートフォンの普及にともなって大学生の

読書量も激減してとのことですが、そのような若者が知性と感性を豊かに育む環境は崩されているといえるでしょう。

このような報道を新聞で読み、私の今までの教育に関する危惧は的外れではなかったと実感しました。同時に暗澹たる気分になりました。文部科学省が小中学の教育に読解力の養成の施策をし、良心的な教員がこの問題に熱心に取り組もうが、も

はや深刻な状況から抜け出せると思えません。最後の望みは家庭での幼児教育かもしれないが、すでに読解力が低下した世代が子育てをする時代ですから、どのようにしたらよいか、私には分かりません。

すでに産業構造、経済状況などを考えると、現在ではかつてのような教育環境を求めめることは無理なかもしれません。その現実を私たちはしっかりと見つけねおすべきではないでしょうか。私たちが便利さを求める欲求に対応するIT産業の発展



江戸時代 師匠如来像

は日進月歩の状況です。その発展が豊かさや便利さをもたらすと同時に、生きるための大事なものを失うことになっているように思えます。

安全と快適と便利を求めて人類は長い歴史を生きてきました。そして人間の知恵でそれらのすべてを獲得したかに思える現代文明は、実はそれらすべてを失うという皮肉な結果を迎えようとしているように思えてなりません。人間はもつと謙虚に慎ましかに生きるべきだったのでないでしょうか。今こそ仏さまの教えに照らして反省すべき時代になっているといえるでしょう。

これからは人工知能などの急速な普及により社会構造が劇的に変化することが予測されています。しかしそのような世界に生きる知恵を人間は獲得していません。いかに生きるべきかを考えている間に科学技術は大胆に世界を変えてしまっています。ますます自分の在処が見失われる危険にさらされた自分を根本から見つめなおすために仏さまの教えが必要とされます。

.....  
● 廣澤隆之先生のプロフィール  
● 大正大学名誉教授  
● 浄福寺住職

### 戊辰の役で尊い命を捧げた新選組隊士尊霊一五〇回忌総供養祭

皆さまご承知の通り今年は勤皇左幕の新選組及び東軍が賊軍扱いにされ、数多の犠牲者が出た戊辰の役から一五〇年に当ります。

それ故有志の方々の発願により戊辰の役の犠牲者慰霊の大法要が左記の通り奉修されますので、ご希望の方はご参加下さい。

記

一、名称 戊辰の役新選組隊士尊霊一五〇回忌総供養祭

一、日時 平成二十九年三月十八日(土)

受付 午前十一時三十分より

大法要 午後一時三十分

一、会場 高幡不動尊五重塔地階大ホール

一、大導師 高幡不動尊貫主

一、参加費 二、〇〇〇円也

#### 第二部

一、講演 会津松平家第十四代当主 松平保久氏

演題 「会津藩と新選組」

一、ご子孫の紹介と挨拶

#### 第三部 演武等

①新選組「剣の舞」演武 エルプロダクツ一門

②無外流居合演武 武田鵬玉先生一門

③全日本刀道連盟演武 全日本刀道連盟 車邦秀先生一門

④天然理心流演武 勇武館道場 宮川清蔵先生一門

お問合せ 高幡不動尊金剛寺

### 新選組友の会・第四十二回歳三忌のお知らせ

五月十三日(土) 午前十一時 石田寺墓地にて読経・焼香

午後二時 高幡不動尊にて記念講演

講師 権東品氏 演題『土方歳三の愛刀について』

参加ご希望の方は「大出俊幸氏」にお問い合わせ下さい。TEL〇九〇七三三九〇七三  
会費 二、〇〇〇円(含記念品) 当日会場支払 ※募参のみは無料です。

### 第二十回 ひの新選組まつりの概要

今年のひの新選組まつりが来る五月十三日(土)・十四日(日)の両日左記の通り盛大にとり行われます。

記

五月十三日(土) 新選組隊士総慰霊法要 正午 五重塔々院大ホール

参加料等はありませんので奮ってご参列ご焼香下さい

新選組隊士コンテスト 午後二時 五重塔々院大ホール

五月十四日(日) 新選組隊士全員集合 午前九時二十分 大日堂前

新選組隊士出発式 午前九時四十五分 土方歳三像前

このあと午前中は高幡山境内及び門前町で隊士の皆さんのパフォーマンス等

昼食後日野第一小学校へ移動

新選組パレード(甲州街道交通規制 午前十時〜午後四時)

会場 甲州街道川崎街道入口より日野駅まで約五〇〇米

パレード 三〇団体余り・約一〇〇〇名

隊士パレード 午後一時三十分〜三時

催し物と 日野宿 会場内各所でさまざまな催しもの及び出店があります。(十四日)

出店 高幡 高幡不動尊境内では

十三日・十四日の

両日新選組関係市

町村や大震災被災

地の物産展等が予定されています。

尚十四日は月例のり

サイクル市が開催

されます。

※都合により開催内容が変更される場合があります。

詳しくは日野市観光協会ホームページ等でお確かめ下さい。



「エイ！エイ！オー!!」



貴主年頭のごあいさつ 1/1

# 高幡不動尊 フォトニュース



文化財防火演習 1/26



見晴し台より新宿副都心を望む 12/28



AED講習会 12/14



初不動だるま市 1/28



江戸消防記念会の初詣 1/10



元旦護摩の内陣参拝 1/1



駅から寺まで約2時間 1/2



鈴木公道先生のご法話 1/28



福銭作り～高幡山遍照講の皆さん 1/13



こっちへ撒いて！～節分会豆撒式 2/3



七福神詣で賑わう弁天堂 1/3



樽酒をいただく横田基地の皆さん

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。(敬称をすべて省略させていただきます)

品名 脇差 一振  
奉納 日野市

濃洲住 兼道作 天正時代  
井上 敏夫  
長さ 五二・六cm  
反り 一・二cm



品名 六尺六曲金屏風 一隻  
奉納 墨田区

松野 弘子

花木奉納金

寄進者芳名

(平成二十八年十一月一日〜二十九年一月三十一日)

二本 昭島市 美坂 三佐子

三鷹市 尾崎 明子  
小平市 匿 名

国立市 森田 佳世

日野市 島田 妙子

日野市 田倉 美枝子

日野市 田倉 康子

日野市 匿 名

日野市 山田 キヨ子

境内整備緑化資金 寄進者芳名

(平成二十八年十一月一日〜二十九年一月三十一日)

日野市 遠藤 和子

日野市 本 妙 講

日野市 平野 陽 昭

日野市 高崎 友 孝

稲城市 寺尾 公 平

彦根市 西澤 政 男 (五回)

千田地蔵尊 奉安者芳名

(平成二十八年十一月一日〜二十九年一月三十一日)

多摩市 二ツ橋 直 季

多摩市 二ツ橋 知永子

青梅市 峰岸 知 幸

大提灯奉納者芳名

(平成二十八年十一月一日〜二十九年一月三十一日)

福生市 福栄講 秋山 充典

日野市 井上源三郎資料館

幟旗奉納者芳名

(平成二十八年十一月一日〜二十九年一月三十一日)

二本 西東京市 秋本 キヨ子

二本 町田市 林 實

二本 厚木市 久光 守

守谷市 天野 紳 一

世田谷区 高橋 典子

世田谷区 大竹 迪子

清瀬市 沖山 順子

西東京市 山田 大樹

西東京市 山田 青治

西東京市 今井 大煌

稲城市 園田 隆信

日野市 大增家精肉店

八王子市 ヘアサロンブライナ

八王子市 久島 孝行

八王子市 大熊 彰子

八王子市 大熊 健一

町田市 山本 芳男

相模原市 秋山 直子

横浜市 遠心 会

ご案内

一、裏千家 家元茶道教室

総指導 総師範 裏千家今日庵家元 千 宗室家元  
水曜担当教授 佐藤 宗富先生  
稽古日 月三〜四回(午前十時〜午後四時)  
金曜担当教授 祁答院宗洋先生  
稽古日 月三〜四回(午前十時〜午後四時)

一、表千家 家元茶道教室

指導 表千家不審菴家元教授 菅田 松孤軒宗匠  
担当 杉山 則子先生  
稽古日 毎週木曜日 月三〜四回(午前十時〜午後四時)

一、高幡不動尊いけばな嵯峨御流教室

講師 嵯峨御流華道芸術学院派遣講師  
権法印 納富 貴甫先生  
稽古日 日曜クラス 月三回(午前十一時〜午後三時)  
月曜クラス

一、俳画教室

講師 全日本積穂俳画協会関東支部  
蒲生 悠穂先生  
講習日 毎月第一火曜日 月一回  
(午前一時三十分〜午後三時三十分)

一、密厳流御詠歌教室

指導 高幡山密厳流遍照講師範  
佐藤芳典先生・小澤尚紀先生・手塚英典先生  
稽古日 月二〜三回(午前十時〜十二時)

※紙面の関係で記念碑・文学碑は休ませていただきました。

# 各種募金総計表 (平成29年2月20日現在)

インドハンセン病救援金	(20回)	15,600,000円也
阪神大震災救援金	(4回)	4,104,039円也
トルコ大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
台湾大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
三宅島災害救援金	(2回)	2,000,671円也
インド大地震救援金	(1回)	512,609円也
○イラン大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
カンボジア小学校建設資金	(1回)	100,000円也
ラオス教育振興資金・井戸掘削援助資金	(1回)	800,000円也
新潟中越地震・中越沖地震救援金	(3回)	3,100,000円也
○スマトラ沖地震大津波災害救援金	(1回)	200,000円也
スリランカ・スリジナラタナ社会福祉協会	(1回)	1,030,000円也
○アフガニスタン児童教育援助金	(7回)	5,500,000円也
○アフリカ緊急募金	(10回)	5,000,000円也
パキスタン北部大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
ジャワ島地震救援金	(1回)	1,000,000円也
能登半島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ソロモン諸島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ミャンマー大水害救援金	(1回)	500,000円也
四川省大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
読売愛と光の事業団社会福祉事業基金	(1回)	300,000円也
スマトラ・サモア地震救援金	(1回)	200,000円也
中米ハイチ大地震救援金・チリ大地震救援金	(3回)	1,300,000円也
宮崎県口蹄疫被害畜産農家救援金	(1回)	1,000,000円也
日野市社会福祉協議会への寄附	(19回)	5,700,000円也
東日本大震災救援金	(18回)	32,000,000円也
ネパール大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
熊本地震救援金	(4回)	5,000,000円也
総計	(108回)	91,447,319円也

## 募金の御礼とご報告

高幡不動尊金剛寺執事

平成九年以降皆さまから寄せられました各種募金の合計は左記の通りでございますので御礼旁々ご報告申し上げます。

尚 ユニセフ関係募金(○印)は合計一、二四五万円に  
東日本大震災救援金は合計三、二〇〇万円になっております。

## 武相不動尊西年大開帳

### 巡拝団のご案内

平成二十九年(西年)は武相不動尊大開帳の年に当り、武相二十八不動尊各霊場では五月一日から二十八日まで一斉に開帳を行います。当山ではこの縁の年に武相不動尊巡拝団を左記によって募集致します。ご近所・ご知友お誘い合わせの上、多勢様ご参加下さいませようご案内申し上げます。

記

- 一、巡拝日 火曜コース 五月十六日・二十三日  
木曜コース 五月十八日・二十五日  
(両コース共結願は五月二十八日)
- 一、集合 午前七時
- 一、出発 午前七時十五分
- 一、巡拝費用 二五、〇〇〇円也

- 一、募集人員 (納経料・納経カバー・昼食代・バス代・傷害保険料・結願料を含む) 各コース四十名
- 一、申込方法 巡拝申込書記入の上、金二五、〇〇〇円を添えて高幡不動尊事務局へお申し込み下さい。

(満員になり次第締切りにさせていただきます)  
※お問い合わせ  
高幡不動尊事務局 ○四二一五九一〇〇三三

# 春の行事案内

(毎月十五日にはお焚き上げが行われます)

## ◇三月

フリーマーケット

○12日(日)

新選組隊士東軍殉難者一五〇回忌総供養法要  
〈午後一時三十分〉 塔院

○19日(日)

ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

○20日(祝)

春分の日 彼岸会法要(午前七時) 大日堂

○21日(火)

弘法大師正御影供 (午前七時) 大日堂

○24日(金)

月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○28日(火)

千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶  
月例祭(ご縁日)

## ◇四月

○8日(土)

花まつり(灌仏会)〈午前十一時〉

尚、甘茶接待は四月五日(水)〜九日(日)まで行います。

○9日(日)

フリーマーケット

○16日(日)

ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

○21日(金)

月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○27日(木)

30日(日)

春季大祭国宝まつり (詳細は左頁参照)

## ◇五月

○1日(月)

28日(日) 武相不動尊酉年大開帳

○13日(土)

14日(日)

第二十回ひの新選組まつり(詳細は三頁参照)

○13日(土)

新選組友の会・歳三忌(詳細は三頁参照)

○14日(日)

フリーマーケット

○21日(日)

ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

○24日(水)

月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○28日(日)

五月大祭

記念講演 午後三時―聴講無料―

講師 お天気キャスター

気象予報士 森田 正光先生

演題 「お天気のコツ、全部教えます！」

## 多摩八十八ヶ所巡拝のご案内

当山では昭和四十八年より毎年、四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡拝を実施致しております。巡拝は初めての方でも先達のお坊さんの案内をいただき乍ら月一回の楽しい巡拝が出来ます。ご知友誘い合せてご参加下さいませようご案内申し上げます。

### 記

一、巡 拜 毎月第一週の火・木・日曜日(五月は第二週)

一、会 費 四九、六〇〇円(七回分) 分割納入も可

(納経料・バス代・保険料等を含む)

一、昼 食 各自持参

※詳しくは高幡山事務局内龍華会まで

電話 〇四二―五九一―〇〇三二番

## 花まつり法要と甘茶接待

四月八日にお釈迦様のお誕生をお祝いする花まつり法要が執り行われます。灌仏会とも呼ばれるこの法要は、お釈迦様がルンビニーでお生まれになったとき龍王が甘露の雨を降らせて祝福した故事にならない誕生仏に甘茶をそそぎます。

当山でも花御堂を飾り、誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いの花まつり法要(灌仏会)が行われます。

甘茶接待 四月五日(水)

四月九日(日)

花まつり法要 四月八日(土)





# 春季大祭国宝まつりのご案内

○四月二十七日(木)

大 写 経 会……………午前九時三十分(客殿三階)

写経奉納大護摩修行……………午前十一時三十分(不動堂)

※記念講演【聴講無料】……………午後一時(塔院大ホール)

講師 総本山特派布教師

成田山大阪別院企画部長 漆山 照隆先生

演題 「佛さまに祈る―その心とご利益―」

○四月二十八日(金)

春季大祭国宝まつり 世界平和祈願

稚児練供養大護摩修行……………午後一時(不動堂)

※奉納演芸【入場無料】……………午後三時(塔院大ホール)

柳家 花緑師匠 落語会

◇賑わいますのでお早めにお出かけ下さい。

五重塔仏伝彫刻拝観日【拝観無料】……………午前十時〜午後四時

○四月二十九日(土) 昭和の日

千体地藏尊総回向法要

午前の部……………午前十時(千体地藏堂)

午後の部……………午後一時(千体地藏堂)

※記念講演【聴講無料】……………午後二時(客殿二階洋間)

講師 東京都立大学名誉教授 峰岸 純夫先生

演題 「享徳の乱における分倍河原合戦

―上杉憲顕の討死と高幡不動での供養!―

※奉納神輿練り(地元愛好会奉仕)……………午後〇時三十分

出店 がらくた市(骨董市) ほか

○四月三十日(日)

大般若転読会……………午後一時(不動堂)

※記念講演【聴講無料】……………午後二時三十分(塔院大ホール)

講師 評論家 宮崎 哲弥先生

演題 「現代社会と仏教の行方」

◇四月二十八日は五重塔最上階まで上がれます

……………午前十時〜午後四時

## 大 写 経 会 の お 知 ら せ

当山では、春季大祭国宝まつり中左記の通り大写経会を奉修致しますので、ご知友お誘い合せてご参加下さい。

記

一、日 時 四月二十七日(木) 九時三十分

一、会 場 高幡不動尊客殿

一、会 費 金五千円也(尚、当山招待者は三千円)

(含写経奉納金、昼食代「精進料理」、記念品)

一、募集人数 先着一五〇名

一、日 程

付	9:00	分り
受	9:20	より
客 殿 集 合	9:30	分
写 真 大 写 経 奉 納	11:30	分
護 摩 行 式	12:15	分
主 持 法 話	13:00	分
貫 念 記		

○お申込・お問合せは高幡不動尊写経係まで  
TEL ○四二―五九一―〇〇三二番(代)

## 千 体 地 藏 尊 総 回 向 法 要

左記によって千体地藏尊総回向法要を勤修し、皆様方の諸願成就・万霊供養をご祈念申しあげます。ご知友お誘い合わせてご参拝下さい。

記

一、日 時 四月二十九日(昭和の日)

午前の部 十時から

午後の部 一時から

一、会 場 塔院千体地藏堂

一、冥 加 料 金貳千円也(但、お札料)

◎ご回向の塔婆をご希望の方は別に参千円(二体)を添えてお申し込み下さい。

## 稚 児 募 集 要 項

来る四月二十八日(金)の春季大祭国宝まつりのお稚児を左記の通り募集致します。奮ってご参加下さい。

記

一、日時 四月二十八日(金)

午後一時

一、集合 午前十一時三十分

(本坊)

一、申込 四月二十五日まで

一、冥加料 金七千円也(お護摩料、

お守り札、稚児袋、お

供物、衣裳料、化粧

料、弁当(二人前)

一、年齢 三歳〜七歳位まで

一、ご準備 服装自由(し)ごき紐・

細紐を各一本ご持参

下さい)履物はなるべく草履・足袋をご

持参下さい。



# 常楽会

二月十五日の常楽会は午後一時から行われた伊藤尚徳先生の法話「仏のいのち」が大変好評でした。午後二時からの常楽会法要は当山職員及多摩教区青年会による舍利講式に続き、高幡山遍照講の皆さんの涅槃和讃の奉詠で三時半に終了。当日の冷え込みは厳しく百余名の参加者は客殿での甘酒接待を大変喜ばれました。



常楽会大法要 (祭文)

## 常楽会に参加して

川崎市 飯田 修

久しぶりにお参りをさせて頂き誠にありがとうございます。常楽会はとて荘厳な法要で初めて随喜させて頂きました。ただ、貫主様が御体調がすぐれない事を初めて知り驚きました。

府中市 小林美智恵

勿体無いお話、お経有難うございました。涅槃絵図もじっくり見させていただきました。貫主様のご健康を心よりお祈りいたします。

横浜市 阿部 康世

いつもお護摩にお参りさせて頂いております。

お釈迦様の涅槃



伊藤尚徳先生 会に初めて伺いました。十四時法要とお坊様からお聞きして伺ったのですが、十三時ご法話があるとは知らず、お聴きしなかったです。残念です。今回のご法話が大変素晴らしかったです。ありがとうございました。

仰っていました。

小平市 伊藤 紫雲  
母の四十九日法要を身近な者だけで営み、その席で知人の尼僧さんから涅槃会のご案内を頂きました。

日野市 水馬 義弘

初めて参加させて頂き伊藤尚徳先生のご法話に大変感銘致しました。「遺教経」初めて知りましたが、良寛さんの「戒語」はここからの話かと想像しました。心洗われる一日でした、ありがとうございます。

## 山主の現況について

山主は新年来一日も休まず出仕され、毎日一〜二座のお護摩を修法されております。遠出はひかえておられるようです。

## 山主の主な動静

- 12/6 京王本社年末挨拶・12/10 多摩菊花連表彰式・12/13 煤払い・12/14 もみじ灯路実行委・12/15 ジェイコム取材・12/17 総代平拙三氏葬儀(導師)・12/18 総代世話人会
- 12/21 星まつり法要・1/1〜1/3 新年大護摩供・1/15 牛王宝印々可
- 1/18 内局年賀・1/26 文化財防火演習・1/28 初不動大祭・1/31 豆煎式・2/1 まちおこし連絡協議会
- 2/3 節分会・2/12 春耕新年句会
- 2/15 常楽会・警備反省検討会
- 2/17 幡山会新年会(立川)
- 2/18 日野俳連新春句会・2/27 新選組まつり実行委・京王自動車事業部研修会講師(計六回 2/10 2/13 2/14 2/17)

伊藤尚徳住職の「仏さまのいのち」は涅槃と仏さまの永遠のいのちの意味が良くわかり、お話が解り易く感謝。常楽会法要は声明が素晴らしく感動しました。昔から何かとご縁があったことを母の旅立ちで知りました。

山内消息

煤払い (12/13)

晴天に恵まれた十二月十三日、山内職員総出で煤払いが行われました。

先ず不動堂で法楽をあげ、前日に境内の山から切り出した笹竹で煤を払い、その後各お堂へと進みました。この行事を皮切りに、新年に向けての本格的な準備が始まりました。(上田記)

星まつり (12/21)

十二月二十一日午後五時より、冬至の恒例行事となっている星まつり法要が、不動堂において勤修されました。お堂に星供曼荼羅をおまつりし、全国各地より申し込ま



年に1度の牛王宝印印可

れた各々の星供札を大護摩にてお加持し、来年の開運・厄除を御祈願しました。ご参拝の後には、冬至うどんの接待にて冷えた身体を温めて頂きました。(速水記)

牛王宝印印可 (1/15)

当山では毎年一月十五日に不動堂内陣参拝の際、牛王宝印のお授けが行われています。この牛王宝印は重要文化財に指定されている平安期のお不動様と同じ材で作られたもので、古来身体安全・無病息災・健康長寿にご利益があると伝えられ、特に頭痛によく効くといわれております。本年も早朝の五時からの護摩祈禱に大勢のご信者さんが参拝され、ご宝印を額に受ける列が長く続きました。(杉田周記)

総本山内局来山 (1/18)

一月十八日、総本山智積院より芙蓉良英宗務総長をはじめ内局の皆様総勢九名が年頭の挨拶にご来山されました。当山貫主導師の大護摩修行に参列後、大日堂の鳴り龍を参拝し、現在開催中の日展評議員を務められた長谷部日出男画伯絵画展をご鑑賞いた



総本山 芙蓉内局ご一同様

きました。その後、客殿にて貫主と懇談され、内局ご一行は大本山高尾山薬王院へと向われました。(手塚記)

文化財防火デー (1/26)

晴天に恵まれた朝九時より文化財の保護を目的とした防火演習が行われました。昭和二十四年一月二十六日に奈良の法隆寺が焼損したことに基づき始められたこの演習は金剛寺にとって大事な行事の一つです。

開始の合図とともに火災を知らせるベルが鳴り五重塔から煙が上がりました。隊長の指示により文化財搬出、けが人搬送、初期消火の順で進み高幡山自衛消防隊を含め、三

商店会、山内出店業者、ボランティアの皆さん達と一丸となって速やかに行動しました。そしてサイレンが鳴り響き日野消防署、日野市第六・第七消防団が到着し迅速な指導のもと五重塔へ一斉放水、無事演習を終えることができました。日頃より一層の訓練と行動に励みたいと思います。(野川記)

豆煎式 (1/31)

多くの参拝者の皆様が集まる中、豆煎式が執り行われました。節分に撒く福豆を煎る行事で、参加された日野わかき幼稚園の園児達は大きなしゃもじを持ち、いっしょうけんめい福豆を煎ってくれました。その後、園児達は不動堂前で一足早い豆撒き。福は内へのかけ声は冷たい風を吹き飛ばすかのように境内に響きました。(丸山幸記)

高幡山遍照講新年会 (2/8)

二月八日に高幡山遍照講の新年会が行われ二十六名の講員さんが参加されました。

高幡山遍照講の講員さんには、法要での奉詠のみならず一年を通して各行事のお手伝

いをお願いしております。年末は暦の発送作業、仏器磨きには始まり、お正月の坊入配膳、初不動、豆撒きの福銭・福豆作り、節分会、年男で使った袴のアイロンかけ等のお手伝いで今年も支えていただきました。新年会では、はじめに昨年十一月二十九日に行われた検定会で合格された方々の昇補伝達が行われました。次に六月二十二日に岩手県北上市で行われる北上奉詠大会の開催が発表され、皆さん心待ちであるようでした。年末年始のお忙しい中お手伝いいただきお疲れだったかと思いますが、それを感じさせない賑やかな新年会となりました。(手塚記)



燃え上がる炎に放水!

# 年末・年始の行事に参加して

ご参加された方々のお声を紹介いたします。

## 星まつり (12/21)

日野市 御子柴万里子  
毎年星まつりに参加しています。おうどんの接待をいただき、相席の方と和やかにお話をします。別れ際「良いお年を」と声掛けし別れますが本当に清々しい気持ちになります。



星まつり後の冬至うどん接待

まるご接待が心地良く感謝申し上げます。御前様の益々のご健康をお祈り申し上げます。

## 多摩市 星 恵久子

はじめて参加しました。こんなに美味しいおもてなし、嬉しいです。お不動様に縁あって五十年以上になります。これからも私達の心の支えになることと思います。今日はごちそうさまでした。

## 日野市 須田 泰敏

この行事に参加すると一年を無事に過ごすことが出来たと感謝の気持ちがあふれます。

## 横浜市 山内 陽子

今年も冬至の日にお不動様のお守りを肌を感じ、良い一年だったと実感いたしました。頂いたおうどんの温もりをありがたく感じました。

## 成人式 (1/9)

## 日野市 木村萌々華

成人を迎えた今日、これまでの人生はいつも誰かに助けられたり、支えてもらってきた二十年間だったなと感じています。



晴れ着で境内が賑わいました

友達と写真を撮った後、小さい頃から遊んでいたお不動さんにご挨拶にきました。境内を歩いていると「おめでとー」「綺麗だね」とたくさんの方々に褒めていただき、まるで芸能人のようなひとときを過ごしました。大人になっても、これまでと同じように、良い経験をたくさん楽しんでいきたいです。

## 初不動稚児行列 (1/28)

## 相模原市 土方 智

長男に続いての稚児行列の参加です。父も綱持ちをしたので、親子二代で綱持ちという忘れられない事となりました。健康第一、元気に育ってほしいです。

## 国立市 佐藤 朋子

貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。家族で楽しませていただきました。

## 五歳の娘もドキドキで照れ

笑いをしていました。だんだんと色々な方に「かわいいねー」と声を掛けていただきご満悦でした。

初めてのお化粧も嬉しそうでした。ありがとうございます。



初めてのお化粧かな？

## 日野市 鈴木美希子

## 都緒子

初めての稚児行列。三才になつたばかりで心配でしたが良い思い出になりました。

正月は小豆島で八十八ヶ所参りをしたので、本人も嫌がらず楽しそうに参加していました。機会があれば、また参加しようと思います。

有難い経験を誠にありがとうございました。

## 日野市 滝瀬留里子

長女の時から十年ぶりに次女がお稚児さんをさせて頂きました。八才とだいぶ大きくなつてからのお稚児さまでしたが、お友だちと共に笑顔でお参りでき、とてもすてきな一日となりました。健やかに

### 豆煎式(1/31)

成長できたらと願います。

日野わかかさ幼稚園保護者  
四之宮順子

前日の暖かさから一転、冬の寒い寒さに逆戻りした一月三十一日、豆煎式が行われました。

当日は本堂でのお護摩修行の後、木桶二杯分の豆が香炉で煎られていきました。園児達は一人ずつお坊さんに抱きかかえられ、大きな杓文字で一心に豆を煎っていました。その表情の真剣なことと言ったら……。思えばお護摩修行の際も不動明王様の前で静かに正座をしていた子供達。少し前に入園したような感覚で



活躍に期待します(新成人)

いたのに、四月にはもう小学生になるんですね。それを改めて実感したひと時でした。

今回の式を通して、皆子供ながらに自国の文化や四季の彩をきつと感じとったことでしょう。貴重な体験をさせて頂き有難うございました。

日野わかかさ幼稚園保護者  
地主 舞

園児達の楽しみにしていた豆煎式当日は、晴天に恵まれました。

不動堂に入つての大護摩修行は、お行儀よく正座し、静かにご祈禱していただだけ、さすが幼稚園で礼拝をしているだけあると感心しました。

そして豆煎式の儀式。大きなしゃもじで豆を煎る様子は壮大で、煎らせてもらった園児達も「わくわくして楽しかった」と話していました。

「豆まきは、お不動様が鬼を退治してくれるため「福は内！福は内！」だけの掛け声でとても印象深かったです。

この日は園児達にとって貴重な経験になり、心より感謝しております。

日野わかかさ幼稚園保護者

染谷 之子

豆煎式に初参加で親子共々

### アルバイト

藤田夏乃子

貴重な経験をさせていただきました。感謝いたします。まず、不動堂にてお護摩の修行。内陣に入れていただいている子供たちは、お寺の幼稚園に通っているだけあり座っている姿、手を合わせる姿が立派だなと感心させられました。私たち保護者もお香を左手の平に付けていただき、お不動様に手を合わせました。間近で見えるお不動様に私は少し緊張し、また、お香の良い香りにしばらく癒されました。そして外に出て豆煎りの儀式。子供たちはお坊さんに抱っこしていただき大きなしゃもじでお豆を煎ります。私たちにもお豆の香ばしい香りが伝わってきました。

近年、簡略しがちな日本の伝統行事、私たち親も子供に伝えていかなければと気が引き締まりました。

「お仕事楽しいですか？」ご両親と一緒に参りに来ていた女の子にそう聞かれたのは高幡不動尊のアルバイトを始めて最初の年でした。その時の私はお守りの仕事に一杯何でも考えることなく「楽しいよ」と答えただけでした。アルバイト三年目の今、はつきりと「楽しい」と答えることができず。それは高幡不動尊での仕事を通して、お正月・節分などの日本の伝統的な行事に触れ、知っていくことの楽しさもありますが、何より職員の方々に支えられながらアルバイトの皆さんと協力して働いたことが楽しいと思えました。

短い期間でありながらも毎回とても貴重な経験をさせて

いただき感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。丹藤 真子

初不動に花添えるさんたち  
お稚児さんです。ありがとうございます。まっすぐ商店街を抜けて仁王門をくぐり、不動堂にお参りす



る……。去年までの私にとっては、ありふれたお正月の日でした。ところが、今年は一味違います。高幡不動尊側の人間として末席に加わり、参詣者の方々をお迎えする仕事をさせて頂きました。

悠久の年月を感じさせる不動堂を仰ぎ見ながらの作業。聞こえてくる護摩の声、くゆる香のかおり、それらと相まって、凜と張りつめたお寺独特の空気は、私の背すじを伸ばすようでした。

今年の正月は特に思い出深いものとなりました。此の度得た職員の方々とのご縁を大切に、一年を歩んで参ります。



園児もお手伝い(豆煎式)

# 節分会

今年の節分会豆撒式は穏やかな晴天に恵まれ四万人の参詣者で賑わいました。年男年女に特別参加された方は、東貴博さん・つのだ☆ひろさん・小市慢太郎さん・稲村亜美さん・寺泉憲さん・藤原浩さん・岩崎愛子さん・ミス日本各受賞者の皆さん・祇園の舞妓さん・ハローキティちゃん・ピーポくん・キュータくん・イータクんのキャラクターも参加しました。



年男の東貴博さん

俳優 小市慢太郎  
嬉しかったです。楽しかったです。

初めての機会でしたが、本当にありがたい。人々の嬉しそうな、楽しそうな顔を見られる素晴らしい体験でした。私自身が皆様に福をたくさんいただいた気持ちです。ありがとうございます。

タレント 東 貴博  
祝！酉年！！私は福を取り込む「年男」何を隠そう府中の女神安めぐみも「年女」今年は酉年夫婦を代表して私が福と金運をまかせていただきました。皆様のご健康と幸せを願っております。ありがとうございます。

歌手 つのだ☆ひろ  
人の手から手へと福が渡る。心から心へ願いが渡る。笑顔から笑顔へ受けわたすものは過去から未来へと続く日本人の想いに違いない。

タレント 稲村 亜美  
家のベランダでしか豆まきをした事がなかったのですが、高い所から豆をまくのが楽しかったです。ただ、遠くまで飛ばせなかったもので、次まで飛ぶまでに練習しておきたいと思いました。みなさんにいいことがありますように。

俳優 寺泉 憲  
春が来た！快晴の暖かい節分会で、高幡不動尊の境内にあふれんばかりに集まれた皆様の明るい笑顔がパツと咲いた花のように！私も幸せな気分になり一杯豆をまかせて頂きました。福は〜うち〜。

歌手 藤原 浩  
感謝です！  
毎年おじゃまさせて頂いております。今年も一年間皆様と共に健康に過ごせそうですように。福は〜うち〜！！ 合掌

歌手 岩崎 愛子  
幼い頃から福をもらう為に来ていた高幡不動尊の節分会に参加させていただき感謝の気持ちでいっぱいです。ご当地ソング「曼珠沙華咲く高幡で」今年も大切に歌わせていただきます。

祇園舞妓 市 晴  
毎年、豆まきに寄せていただくのを楽しみにしています。今年も皆様にたくさん福が舞い込みますように。

祇園舞妓 小 ちみ  
豆を撒いた時に、皆さんとても喜んでくれたはって、知ってる方も来てくれたはってうれしおした！お豆さんもすごくおいしいです♡



神スィングの稲村亜美さん(前)と小市慢太郎さん(奥)



ミス日本の皆さん

ミス日本ランプリ 高田 紫帆  
本日はありがとうございます。これまで自宅近くの節分祭に福を分けて頂くために家族で足を運んだことはありましたが、豆をまくのは初めての経験でした。たくさんの方に福が訪れますようにとの願いをこめてまかせて頂きました。このような素晴らしい経験をさせて頂けたので今年はずっとも幸せな一年になると思います。

ミス日本「水の天使」 宮崎あずさ  
酉年生まれ私の私が、豆をまかせて頂き大変光栄です。たくさんの方々の笑顔を見て、私自身も元気をたくさん頂きました。二十四歳を迎える今年、こんな貴重な経験をさせて頂き、本当に有難うございます。

ミス日本みどりの女神 野中 葵  
日本の素晴らしい行事に、有名なお寺で豆まきをさせて頂けたことを大変光栄に思います。

ミス日本海の日 三上 優  
このような節分の行事に参加したことは初めてだったので一生の思い出になりました。遠くの方まで福が届きますようにと心を込めてお豆をまかせて頂きました。私自身も皆さまでたくさん笑顔を送り福もたくさん頂きました。とても楽しかったです。

準ミス日本 宮西 伽奈  
あこがれの節分の行事に初めて参加させて頂き、非常に楽しく心をこめて豆をまかせて頂きました。皆様に福をまかせて頂いただけではなく、皆様の熱気と笑顔に私もたくさん福を頂き、とても幸せな気持ちです。



消防のキュータくんも登場！

高幡俳壇

祐勝選

天 無言館を訪う人のあり曼珠沙華 小平市 森岡 道生

(評) 来館者を迎える曼珠沙華の凜とした姿が。

地 影向の松の天心冬の月 杉並区 町田 珠子

(評) 江戸川善養寺の松、その天心に本尊が影向したかのように冬満月が。

人 なほ先へ居並ぶ達磨初不動 多摩市 橋本 絢

(評) 関東の達磨が産地毎に並ぶ様子をなほ先へと。

佳作 冬ぬくし抱きしめて聴く木の鼓動 日野市 益本 恒夫

大寒や五叉路かためし岐神 練馬区 大石 良雄

縄文の土器に添へあり木の実独楽 日野市 齊藤 勝実

流星群見んとて夜着を重ねけり 日野市 北村 宗子

身じろがぬ男と女寒護摩供 多摩市 阿部 茂助

半衿の白さ眩しき初詣 八王子市 清水 和美

鶏鳴に目覚む朝の淑気かな 吉川市 山田 収一

小正月都大路を媛ら駆け 町田市 林 實

鈴生りの柚子のとりもつ縁かな 多摩市 坂戸 啓子

花菜道横綱牛に勢子が従き 多摩市 松山 英子

選者吟 黄梅や青黒不動大床に

しよつちゆう

「しよつちゆう」という話 からか」とあります。すなわし言葉は、「いつも」や「始ち初中後が略され「初中（し終」さらに「普段から」とよちゆう」となり、これがいった意味で用いられていまさらに促音化されて「しよつちゆう」となったものと考えられています。

この言葉の由来は、広辞苑には「初中後（しよちゆうご） 仏典には、仏さまが説かれ

高幡俳壇 作品募集

応募規定

- 一、はがき一枚に二句
記載何枚でも可(無料)
一、選者は当山 川澄貫主
一、秀逸三句に記念品贈呈
一、投稿先
〒一九一〇〇三二
東京都日野市高幡七三三
高幡不動尊・山報係宛

○ご投句が多く大部分の方の句が掲載出来ませんが、悪しからずご諒承下さい。

お不動さま教えて？



ご質問 先日、お不動さまのお護摩に参加し、その後、境内にあるいくつのお堂をめぐりました。お堂には仏さまの名前が記されたお札があり、安置されている仏さまの名前はわかったのですが、その仏さまに向ってどのようにお唱えしたらいいいのか、がわかりません。どうかお不動さま教えてください。
お答え はい、お唱えします。
ご質問の とおり、高幡のお不動さまの境内には多くのお堂があり、それぞれ仏さまが安置されています。ただ確かに安置されている仏さまの名称が記された札がありますが、そこにはご真言が記されたものが無く、どのようにお唱えしたらいいのかわかりません。
そこで、いくつかの方法を示してみたいと思います。
仏さまの名称がわかってい

るならば、名称の頭に「南無」または「南無大聖」をつけて唱える方法があります。例えば不動明王ならば、「南無不動明王」または「南無大聖不動明王」とお唱えし、また「南無不動尊」でも宜しいです。これが文殊菩薩でしたら「南無文殊菩薩」「南無文殊師利菩薩」と、釈迦如来でしたら、「南無釈迦如来」「南無釈迦尊」「南無釈迦牟尼」など、また親しみをこめて「南無お釈迦さま」とお唱えしても宜しいと思います。
「南無」の呼び名に「南無」を頭につけてお唱えすることにはかわりはありません。ではなぜ、「南無」をつけるのでしょうか、またその意味はどのようなものなのでしょう？

「南無」とは、インドのこの命「ナマス」の音写で、「帰きみょう」「帰依 きえ」などと訳され、その意味は、相手に対し、「ここから敬い、従います」というものです。それ故、「南無」をつけてお唱えすることは、最高の礼を尽くすことなのです。

皆様からのお便り

地域学習の御礼

拝啓 すっかり秋らしくなりました。高幡不動尊でお働きの皆様はいかがお過ごしでしょうか。先日は私たちに高幡不動尊をご案内いただきありがとうございました。

日野市の寺院をテーマとしていた私たちには大変参考になりました。奥殿や大日堂などの拝観を通し高幡不動尊の長い歴史を実感しました。ありがとうございます。高幡にてお働きの皆様どうかお元気で。 敬具

平成二十八年十月十二日  
日野第一中学校 南 奏斗  
聖号十称

浄土宗浅草組寺庭婦人会  
会長 飯島 聡子

このたびの浄土宗浅草組寺庭婦人会団参に際し、ご丁寧なご案内と過分なるお心遣いをいただき誠に有難うございました。素晴らしい紅葉を愛でると共に各お堂の荘厳さと仏様の大きいなるお力に感動いた

しましたのも御貫主様のお話の通り寺側の心構えと地域・檀信徒の皆様の信仰がひとつとなつている証であると思感した次第でございます。

寺離れが進む中、人々の生老病死にお寺として寺庭として、どのように寄り添っている。



アトリ (アトリ科・メス)

くべきかをテーマに研修をしておりますが、今回の御貫主様のお話は大いに学ばせていただきました。自己を振り返り、今後精進してまいりたいと存じます。略儀ながら書中にてご挨拶申し上げます。誠に有難うございました。

十二月二日 合掌

「出逢い」

日野市 益本 恒夫

高幡不動尊は私にとって心のオアシスであり、毎週のように訪れ、心の洗濯をしている。開基以来千数百年の時を刻み続けている古刹は四季折々に様々な趣きをかもし出している。

過日いつもの様に五重塔の周りを歩いていると外国人の青年が熱心に写真を撮っていた。私にとつて外国人に会ったのは初めてで心底驚いた。彼はミラノ(イタリア)から十六日間のスケジュールで初めて日本を訪れ、その日が三日目。大学四年生だという。地下の休憩室に案内してお茶を飲み、幸い英語が通じたのでお寺の沿革など説明すると大変興味深く聞いてくれた。又、私のイタリア旅行の想い出話に花が咲いた。別れ際、売店で「お守り」をプレゼントすると大喜び。お互いの健康と幸せを祈って握手した。その手に力がこもっていた。 完

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時～午後五時  
午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料 金三千元也

御護摩修行

○平日 八時・十時・十一時半・一時・三時  
○土曜・日曜・祝日 八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料

金参千元也  
金五千元也  
金壹万円也

(大護摩)

金参万円以上  
ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市) 毎月第二日曜日(雨天中止) ござれ市(がらくた市) 毎月第三日曜日(雨天決行) お焚き上げ 毎月十五日午前九時

月例写経会

毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要

毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時～午後四時

拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観 午前九時～午後四時

参拝料 二〇〇円

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

正月節分も終り境内はようやく静けさを取り戻しつつあります。今年の初詣は例年をはるかに越えるほどの賑いを見せましたが、アド街ツク天国放映の影響もあり初不動には老若のご朱印客が殺到し、二時間待ちになる程の状態になりました。今回は暮から涅槃会までのご報告と春の行事を中心に編集致しました。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別格本山 高幡山金剛寺

電話 (042)591-0032(代)  
FAX (042)593-3038

発行人 杉田 純一  
編集人

年4回発行・再生紙使用